



→9月4日、日曜日。台風の影響で群馬県・埼玉県に降った雨が矢切のあたりで溢れた。渡しは3~4日、開店休業。毎日、「やっていますか」と電話で問い合わせがある。



↑8月31日、水曜日。まだ水は出ていない。この日あたりから関東地方に上陸するかと思われていた台風が、陸地近くづくにつれて西寄りに進みだした。

台風十二号は日本中をやきもきさせ  
て日本海にぬけていった。

ゆつくりと太平洋上を進んできた台風は、関東地方を直撃しそうなコースをとって北上していたが、途中から西進。横に滑るように進路をとって四国に上陸すると、そのまま北上した。

なぜこのような動きをしたか、通り過ぎたところに気象庁が解説してくれたが、天気を予報するところなのだから解説などはあとでいいのだ。

太平洋高気圧が張り出し、大陸からの高気圧が進路を妨害。そのうえ上空を流れるジェット気流が北へ上がっていた。そんな解説を聞くと、そこまでわかっていいるなら、台風の動きを予測できたような気がするが、それでもないのだろうか。

今回の台風は、外側、つまり関東地方にも大雨を降らせたが、解説によると太平洋の湿った空気が流れ込み、谷川岳などのある関東地方の山並みにぶつかり雨を降らせたのだという。

いかにも、予報をしているように聞こえるが、じつさいは結果報告だ。

## 今週のクマ

→ 客に愛想を振りまくこともない。やることのないクマは、ただひたすら居眠りをしながら、営業開始の日まで過ごす。



↑ 河川敷ゴルフ場が水没し、湿原のようになった。かつこうの餌場。ダイサギが盛んに小魚を捕まえて食べていた。

今週の矢切では、予報に振りまわされた。八月三十一日の午後、いきなり雨が降ってきて、あわてて店じまいをした。かたづけ終わったところで、一転、陽が差してきた。この日は、たまたまテレビの取材がはいつていて、店じまいを終えたところで晴れたので、営業を再開してロケを終え、ことなきをえた。

「雨が降ってくれたおかげでお客さんがいなくて、かえってよかったよ」

オートバイに乗って川の様子を見に来た舟頭さんというが、これから三〜四日は、どんなに天気がよくても水が引くまでは営業できないという。

天気がよくても舟が出せないのはつらい。なにしろ無収入になるのだから。お客さんはそんなこととは無関係だから、せっかく来たのにどうして舟を出してくれないのかと電話で文句をいつてくる。

「自分の都合で舟を出せといわれてもなあ……」

最後はグチになった。

ゴルフ場の干潟には、ユリカモメやサギたちが群れていた。東京湾の干潟も水没しているのだろう。

ゆうぜんと歩くダイサギの足下を小魚が必死で逃げまどう。ダイサギにとつて今日の矢切は天国だ。明日も明後日も。